

感染

感染 かんせん

病原体が生体内に侵入し、一定の病変を惹起する場合に感染という。感染の成立の経路としては、経気道、経口、経皮、経胎盤などがある。事故または原爆等で5グレイ以上の線量を全身に受けた場合、腸粘膜上皮細胞の再生が不十分になり、潰瘍等ができ、腸内細菌の侵入が起こる。また骨髓における造血機能も低下しており、細菌感染防御機構である白血球が減少している。さらに副腎皮質からのグルココルチコイドの分泌が亢進し、免疫反応を抑制する。これらにより感染症が引き起こされる。

<登録年月>
1998年02月
